



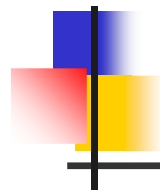
2014年3月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社 京写

証券コード: 6837

2013年12月4日

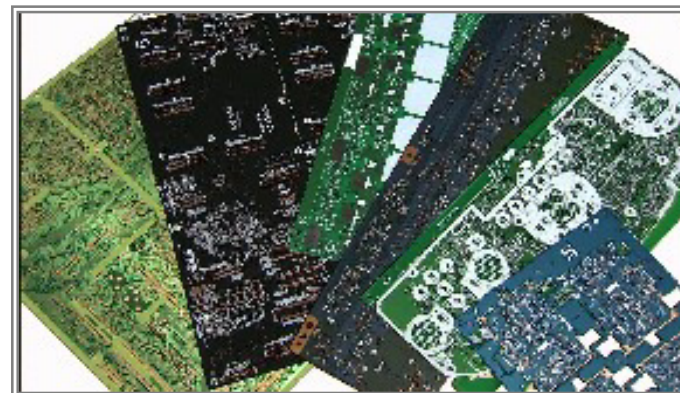
<http://www.kyosha.co.jp/>

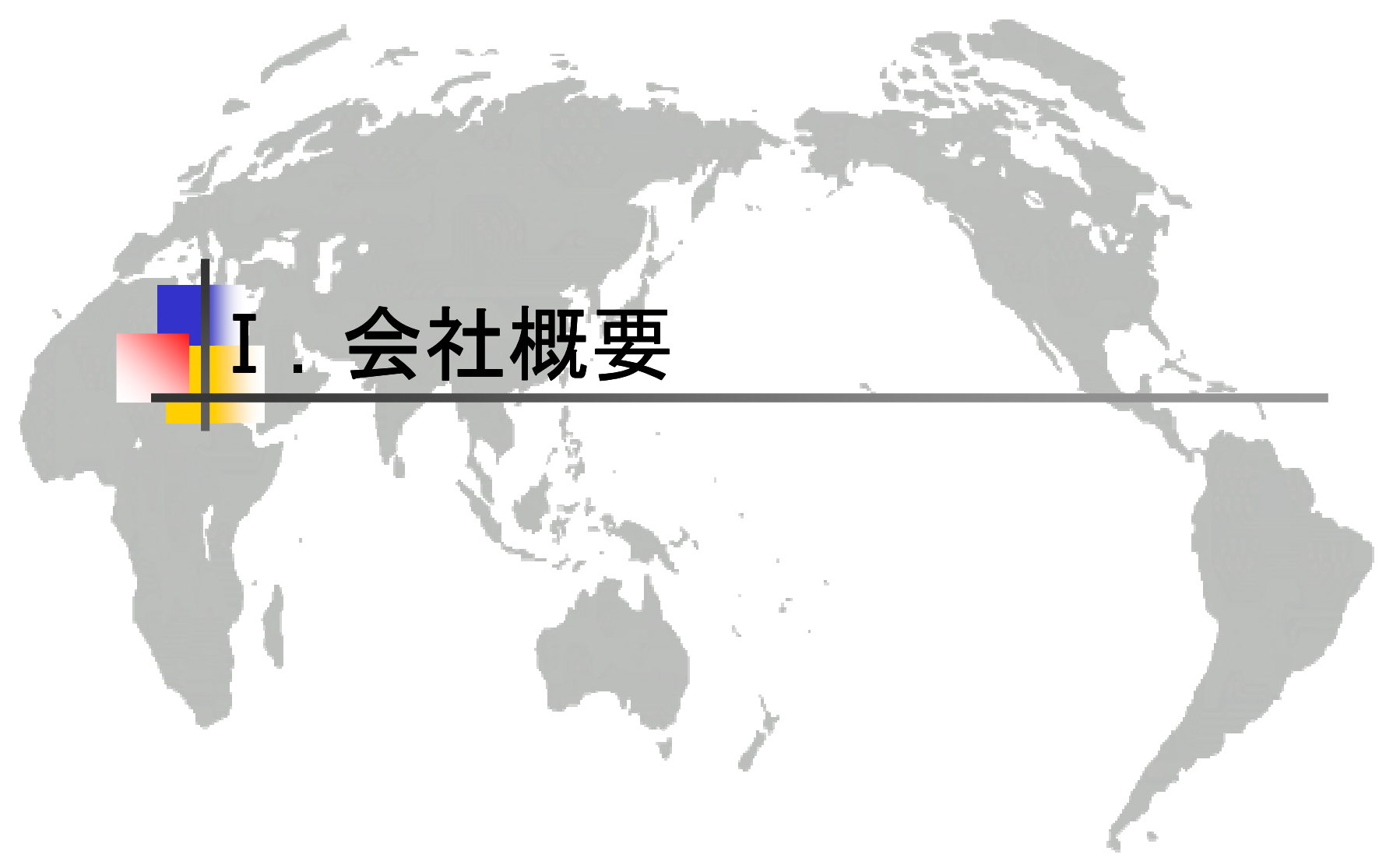


目 次



- I. 会社概要
- II. 中期経営計画
- III. 2014年3月期第2四半期 決算概要
- IV. 2014年3月期 業績予想





I . 会社概要



会社概要



■ 社 名	株式会社 京 写
■ 代表者	代表取締役社長 児 嶋 一 登
■ 所在地	京都府久世郡久御山町森村東300
■ 設 立	1959年(昭和34年)2月
■ 上 場	東京証券取引所 JASDAQ市場(証券コード:6837)
■ 資本金	1,102百万円(発行済株式数 14,624,000株)
■ 事業内容	プリント配線板及び実装搬送治具の製造販売
■ 主要製品	片面プリント配線板、両面プリント配線板、多層プリント配線板 PALAP(次世代多層基板)、電子部品実装、実装搬送治具
■ 従業員数	連結 1,453名
■ 主要取引先	家電製品、自動車関連、事務機、映像機器、アミューズメント機器、 電子部品、音響機器メーカー、他
■ 決算日	3月31日
■ 関係会社	連結子会社数 7社(2013年9月30日現在)



プリント配線板の種類と主な用途



プリント配線板の種類	説明	主な用途
高 価格 低 ↑ ↓ 京写の得意分野 少 多 出荷量(m²) (PALAP基板) ビルドアップ基板 多層板 両面板 銀スルーホール基板 片面板	ビルドアップ基板は多層板の一種ですが、配線を微細化した高密度多層プリント配線板です(PALAP基板は次世代の多層プリント配線板です) 両面にだけでなく内部にも導体パターンを構成するプリント配線板です 両面に導体パターンを構成するプリント配線板です(銅メッキにより両面を導通させています) 両面板の一種です(銀ペーストで両面を導通させています) 片面のみに導体パターンを構成するプリント配線板です	◆半導体 ◆通信機器(スマートフォン等) ◆精密機器(デジタルカメラ) ◆パソコン (ハードディスク、ネットワーク機器などの各種コンピュータ周辺機器) ◆自動車 ◆アミューズメント機器(パチンコ・ゲーム機) ◆自動車(カーオーディオ) ◆事務機(OA端末) ◆事務機(複写機、プリンター等) ◆家電製品 (テレビ・DVD・LED照明機器 エアコン・洗濯機・冷蔵庫等)

プリント配線板が使用されている主な製品



◆電気を使用する製品にはすべてプリント配線板が使用されています。



※上記写真については、一般的にプリント配線板が使用されている製品例を示したものです。



1. グローバル生産拠点から世界中へ製品を供給

日本、中国、インドネシアで生産、世界中へ販売・・・

2. 片面板で世界No. 1 の生産能力

片面板45万m²/月

3. 幅広い製品用途と顧客層

家電、自動車、事務機、映像、アミューズメント、産業機器等
取引口座 約1,000(国内700口座、海外300口座)

4. フリント配線板関連技術の開発

環境対応製品・実装搬送治具の開発と展開

京写連結マップ



中国グループ

名 称	株式所有割合	種類	決算期
京写香港	100.00%	連結	12月
京写広州	95.00%	連結	12月

国内グループ

名 称	株式所有割合	種類	決算期
京 写	—	—	3月
三和電子	100.00%	連結	1月
※京写プロセス・ラボ・ミクロン	100.00%	連結	1月

※京写プロセス・ラボ・ミクロン社は2013年11月18日清算終了
(2013年4月1日より事業を京写に取込)



京写広州



京写インドネシア



京都本社



九州工場



新潟工場



関東テック



三和電子

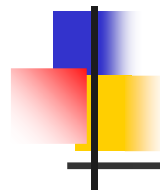
東南アジア

名 称	株式所有割合	種類	決算期
京写インドネシア	95.54%	連結	3月
京写タイランド	99.99%	連結	12月

北米

名 称	株式所有割合	種類	決算期
京写ノースアメリカ	100.00%	連結	12月

連結子会社数 7社 (2013年 9月30日現在)



京写グループの生産能力



◆片面プリント配線板

生産拠点	生産能力/月産
九州工場	80,000m ²
中国工場	220,000m ²
インドネシア工場	150,000m ²
合計	450,000m ²

◆両面プリント配線板

生産拠点	生産能力/月産
京都工場	15,000m ²
新潟工場	15,000m ²
中国生産提携工場(両面・多層)	120,000m ²
中国工場(銀スルーホール)	40,000m ²
合計	190,000m ²

片面プリント配線板世界No.1の生産量
月産、東京ドーム建築面積約10個分
年間115個分の面積に相当

東京ドーム
面積
46,755m²

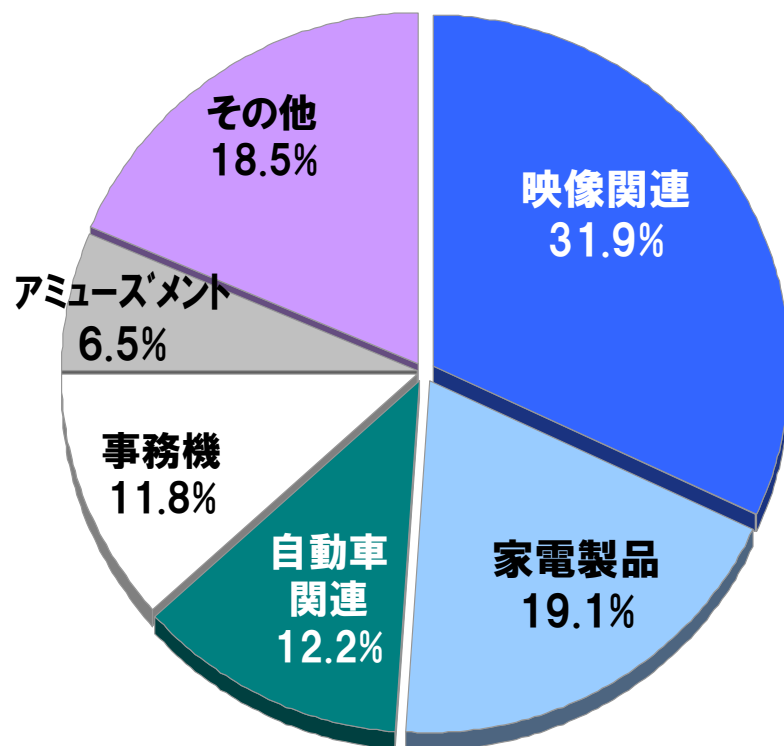




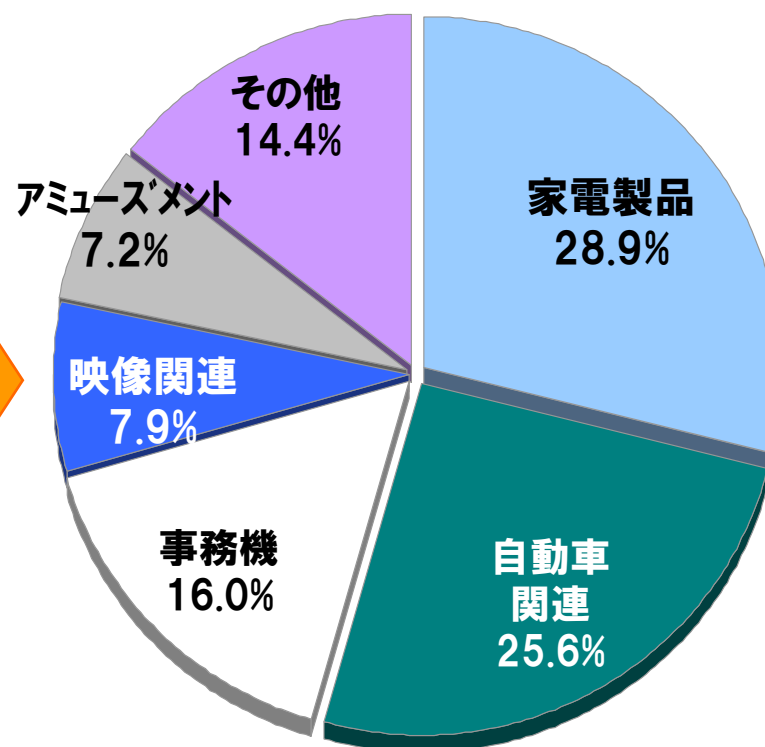
京写の製品用途



5期前の製品用途
2009年3月期第2四半期



2014年3月期 第2四半期
(連結売上)



Kyosha ECOMAP

(ECOMAP = ECOLOGY MANAGEMENT PRINTED WIRING BOARD)

Dust Less = **Kyosha-MAX[®]** 防塵対策基板

破断面からの粉落ち削減、粉レス基板

Heat Less = **Kyosha-Nacora[®]** 熱伝導放熱基板

独自開発の熱伝導インクと回路設計で高熱伝導を実現

Space Less = **Kyosha Fine Technology**

ファイン回路片面基板 ファイン回路を印刷法で実現

(ライン/スペース=100/100ミクロン)

実装搬送用治具 = **MagiCarrier[®]** 次世代搬送キャリア

微小部品搬送、モジュール部品、パネル製造工程等で使用



Ⅱ. 中期経営計画

(2014年3月期～2016年3月期計画)

経営ビジョン・目指すべき方向性



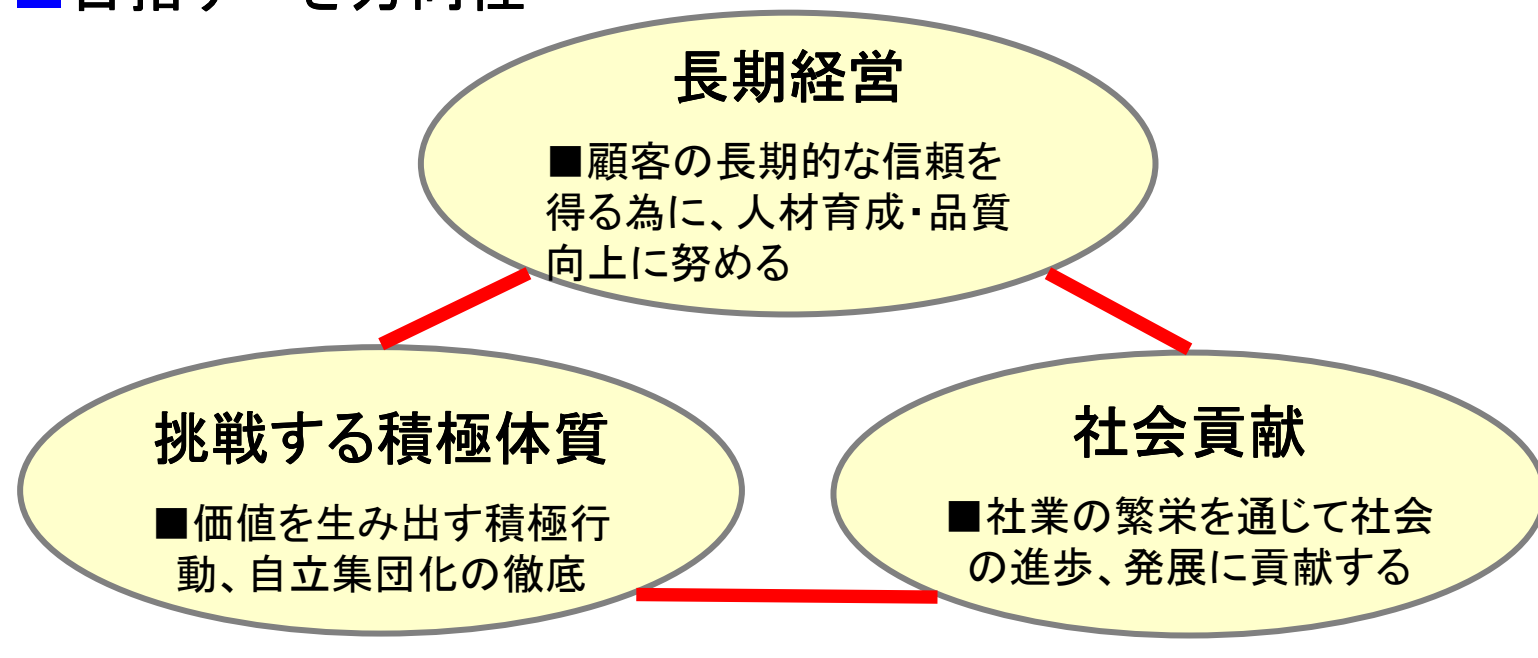
■ 将来ビジョン

「社員が誇れる挑戦企業になる」

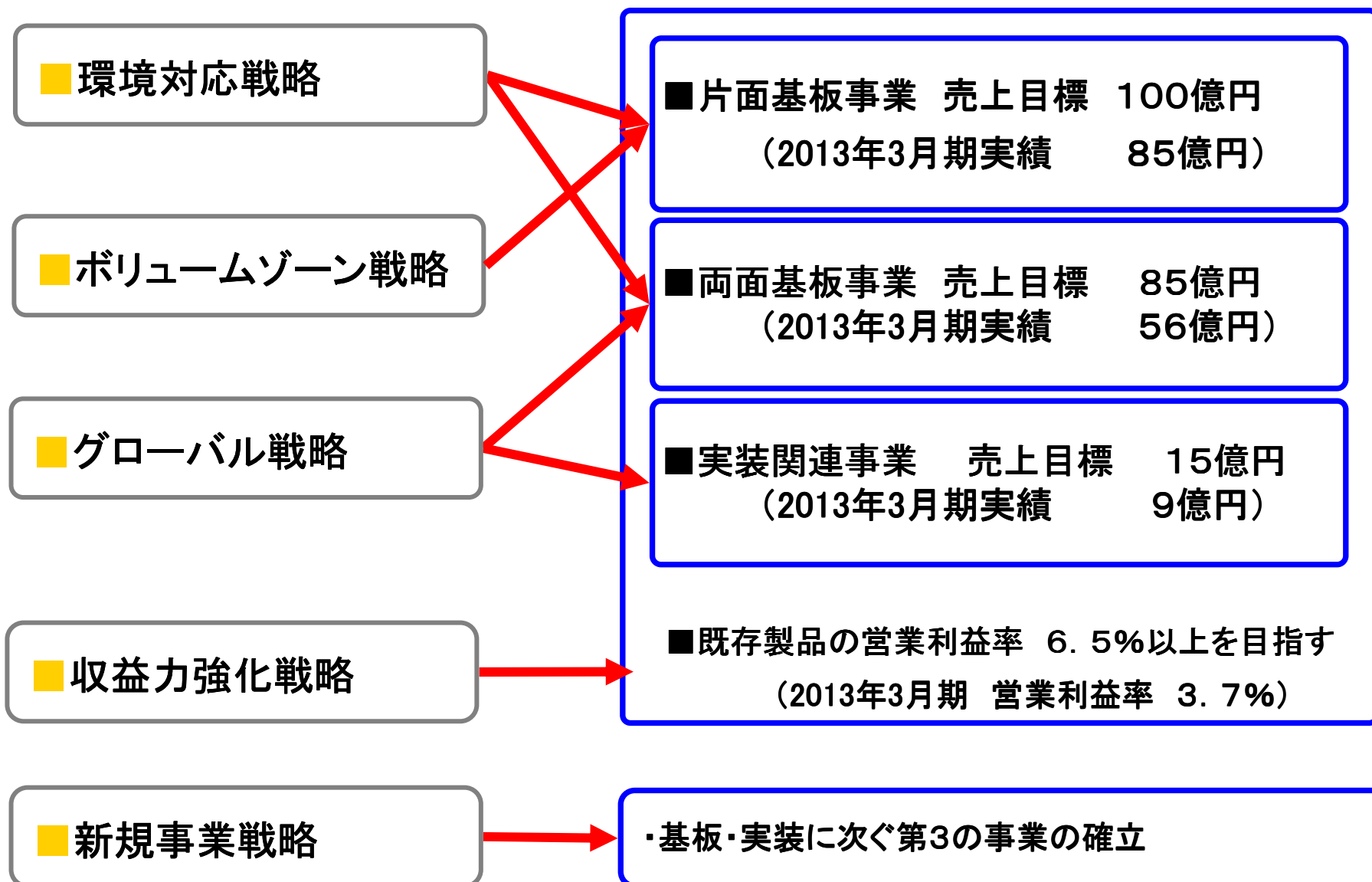
■ 基本戦略

「環境対応の技術開発に取り組み、
ボリュームゾーン商品で世界No. 1の企業になる」

■ 目指すべき方向性



成長への5つの重点戦略

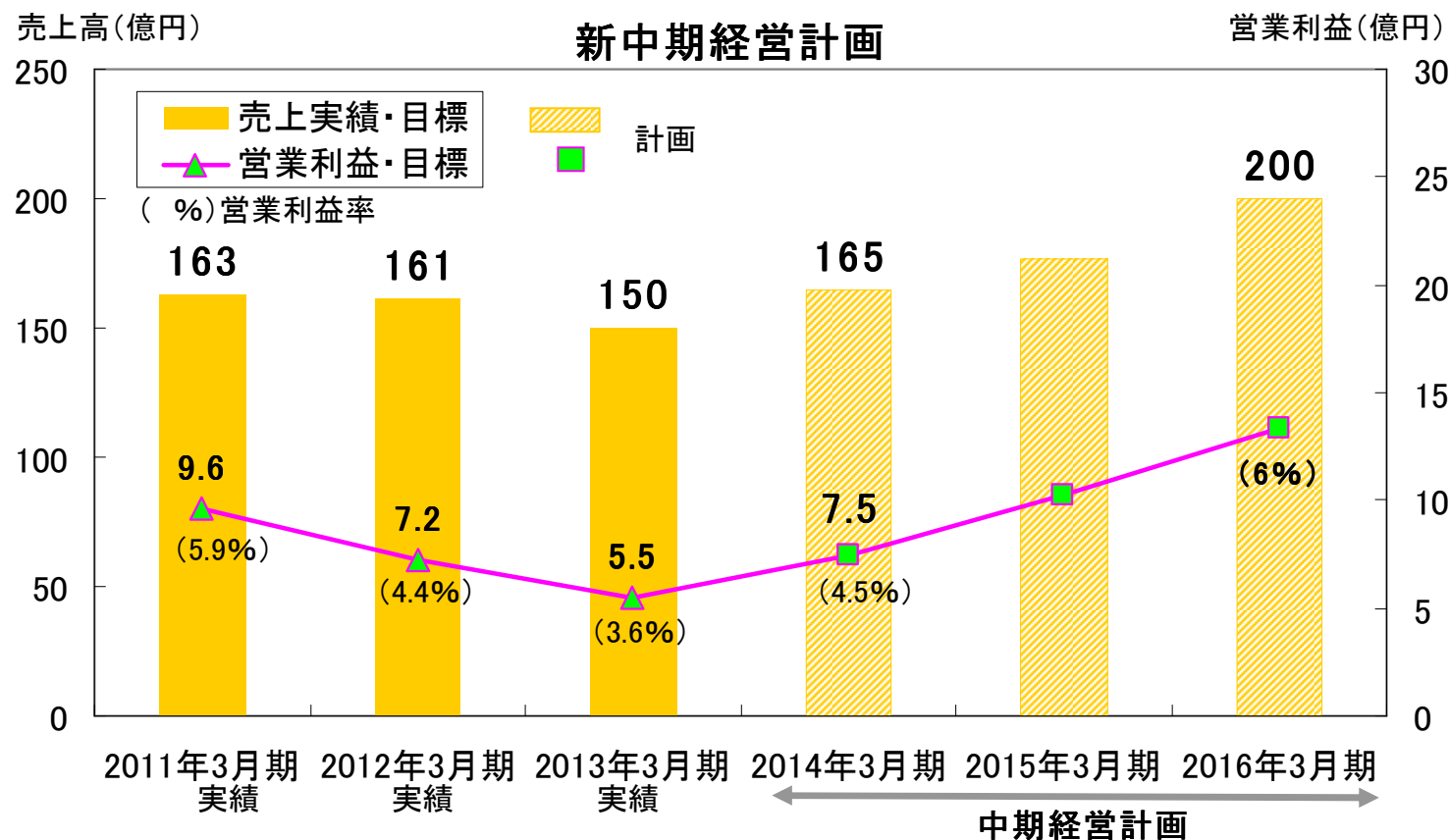


2016年3月期 中期経営目標



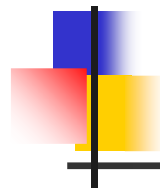
業績目標

■売上高	200億円
■営業利益率	6%
■ROA(総資産利益率)	6%以上





Ⅲ. 2014年3月期 第2四半期 決算概要



2014年3月期 第2四半期業績サマリー



(単位: 百万円)

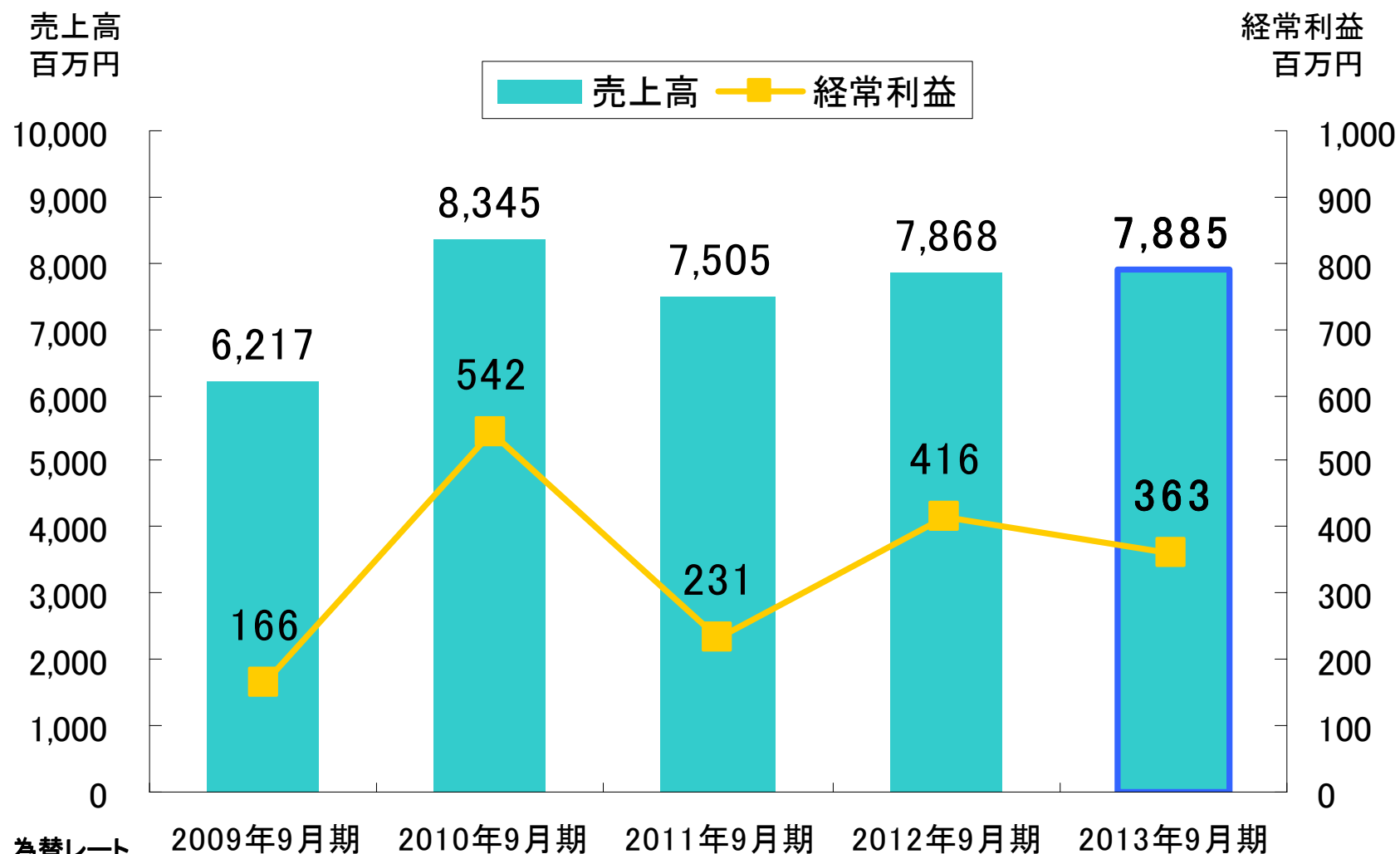
連結	前期実績 (2012年9月)	当期実績 (2013年9月)	増減額	前期比
売上高	7,868	7,885	16	100.2%
営業利益	361	326	△35	90.2%
経常利益	416	363	△52	87.4%
当期利益	284	284	0	100.0%
営業利益率	4.6%	4.1%		

(単位: 円)

為替レート(US\$)	79.41	98.85	19.44	
(HK\$)	10.28	12.32	2.04	



業績推移



US \$	95.49	88.95	79.82	79.41	98.85
HK \$	12.32	11.75	10.54	10.28	12.32

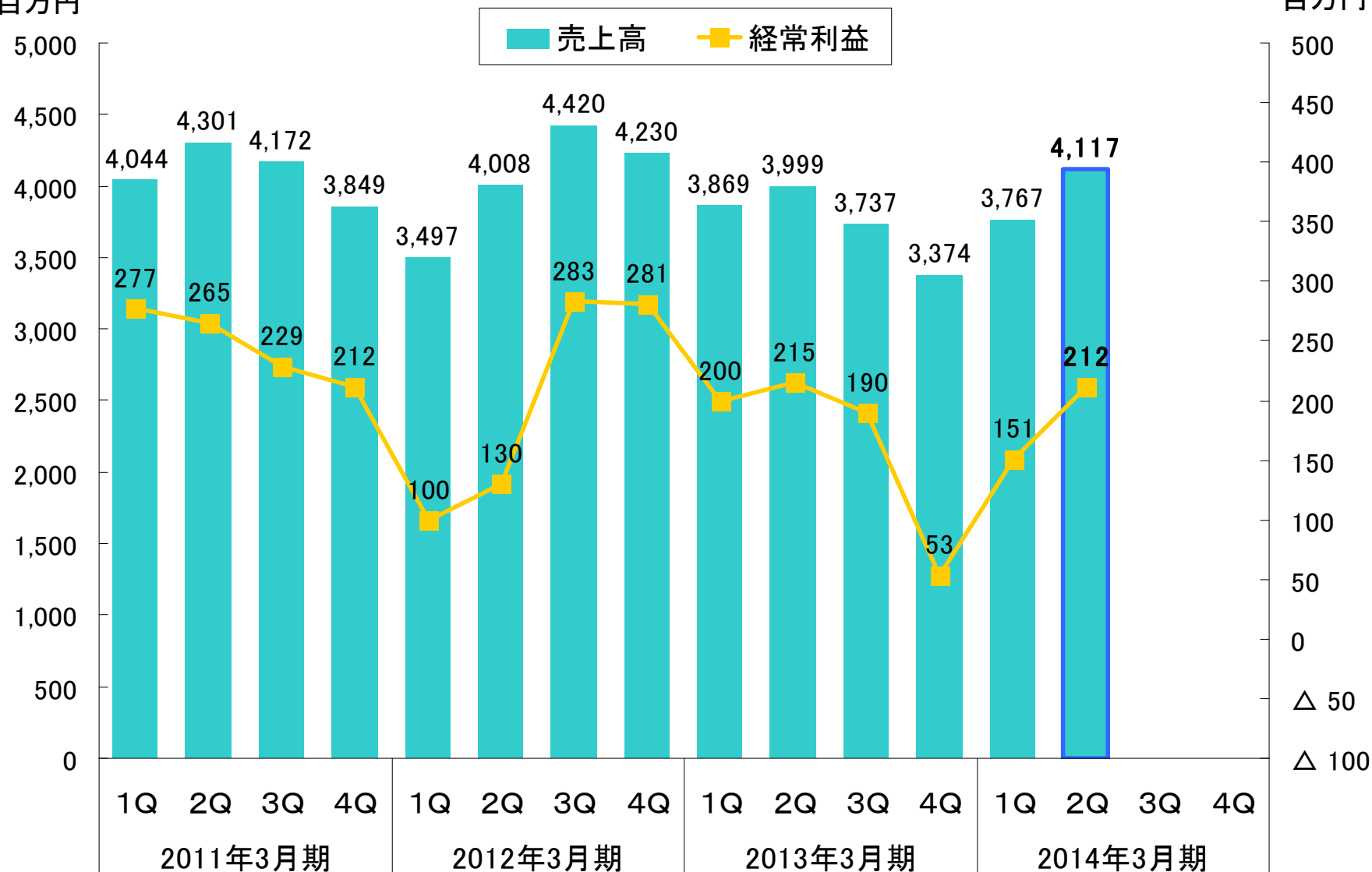


四半期毎の業績推移



売上高
百万円

経常利益
百万円

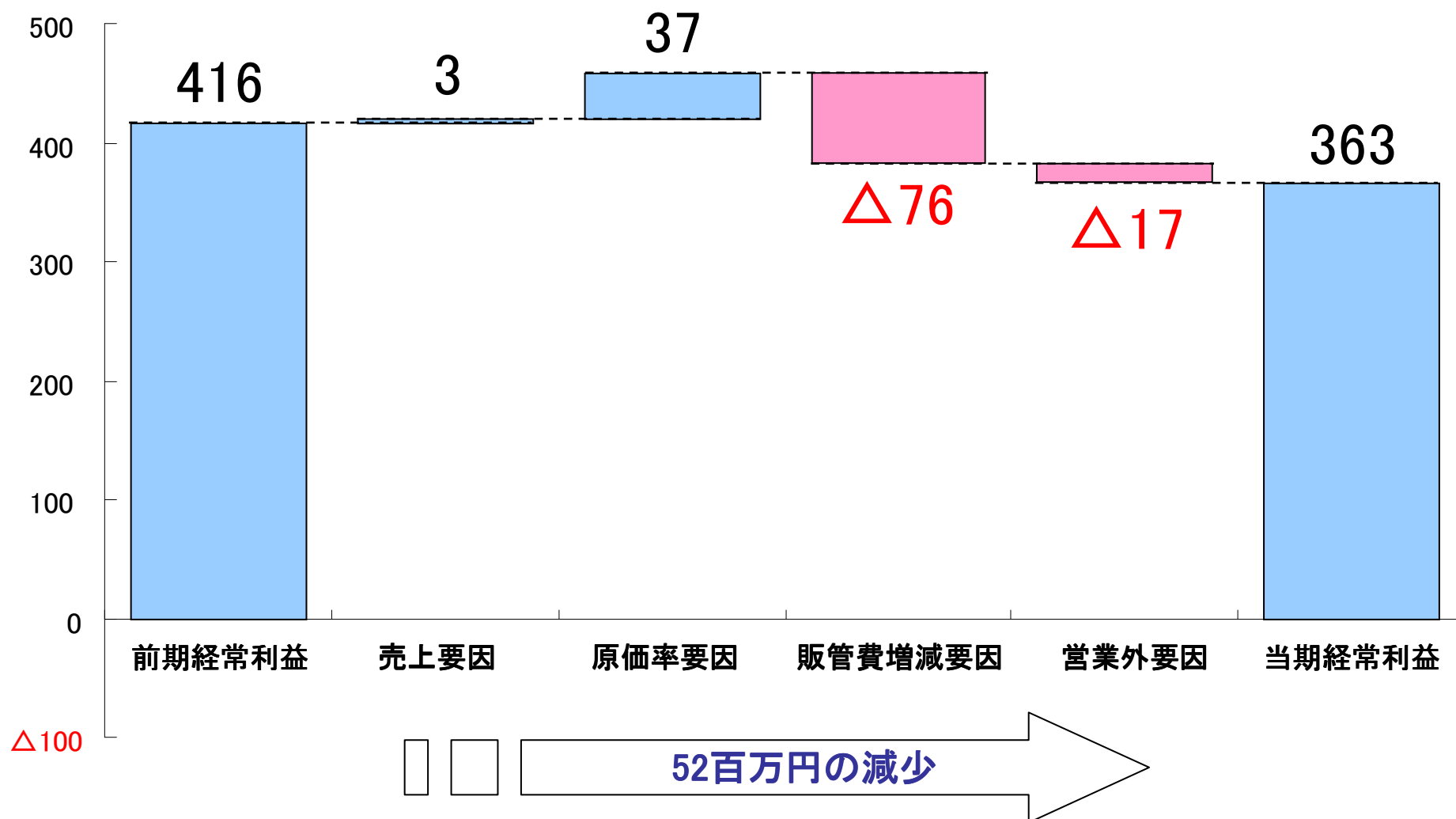




経常利益の増減前期比較

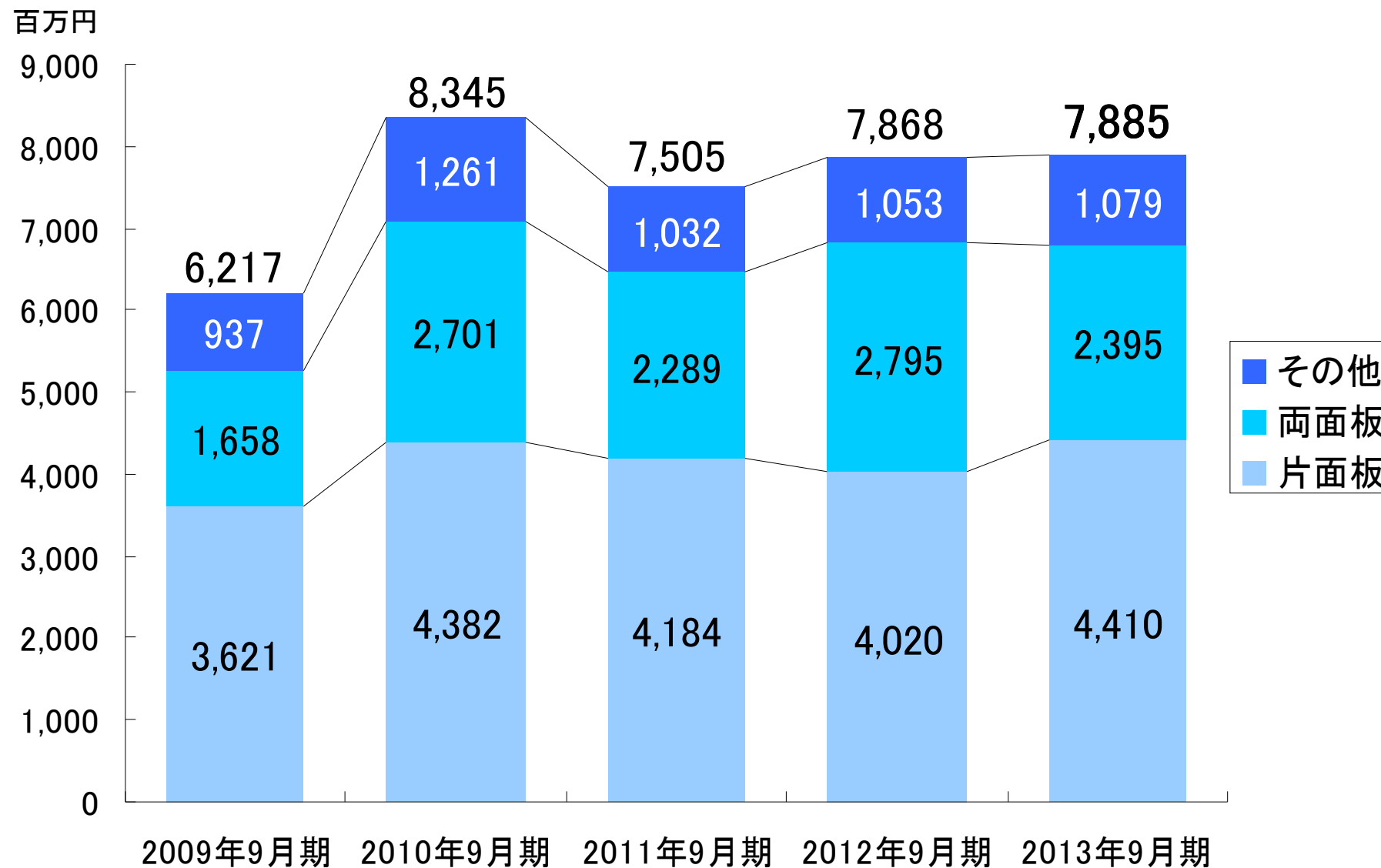


百万円





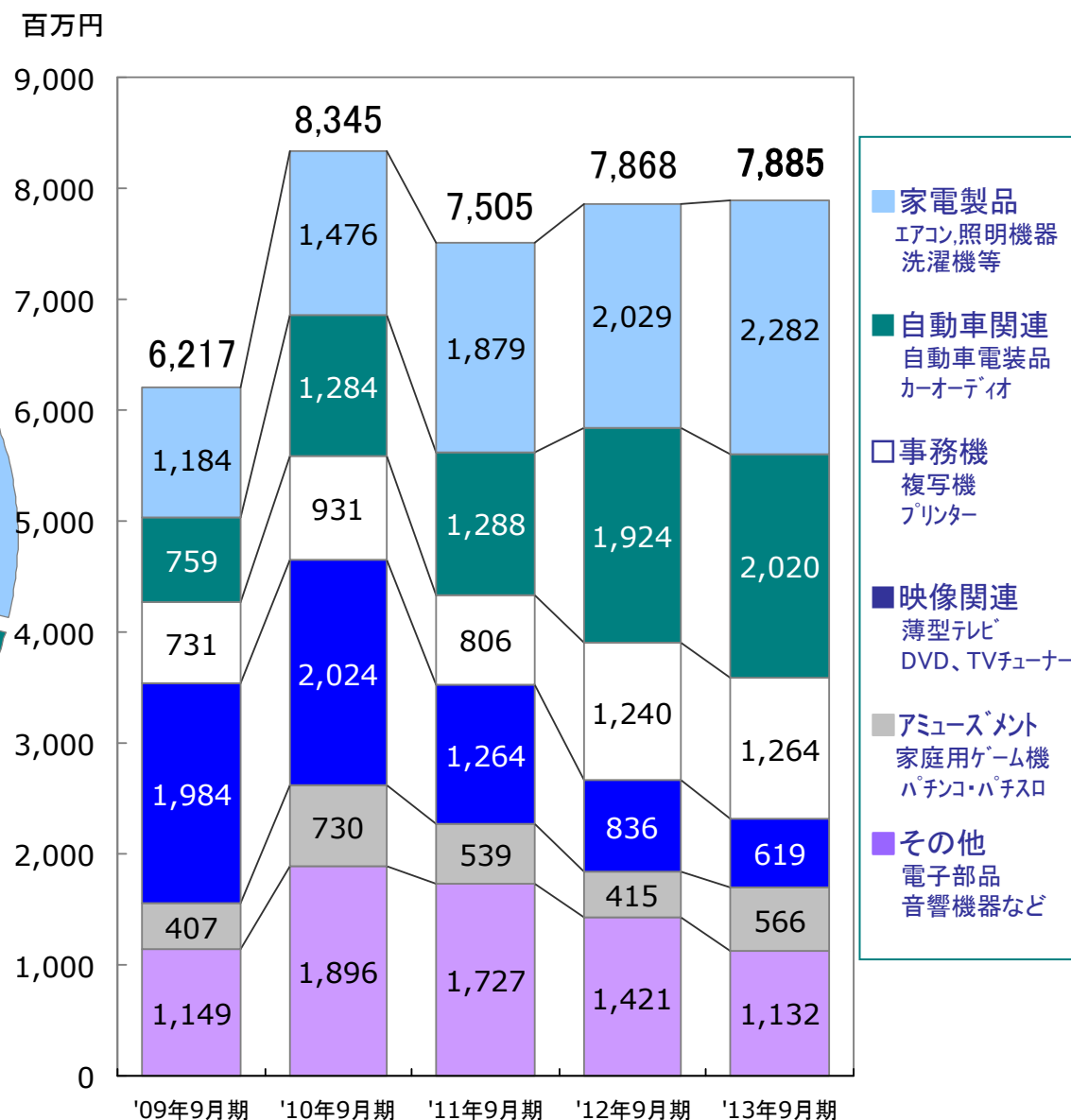
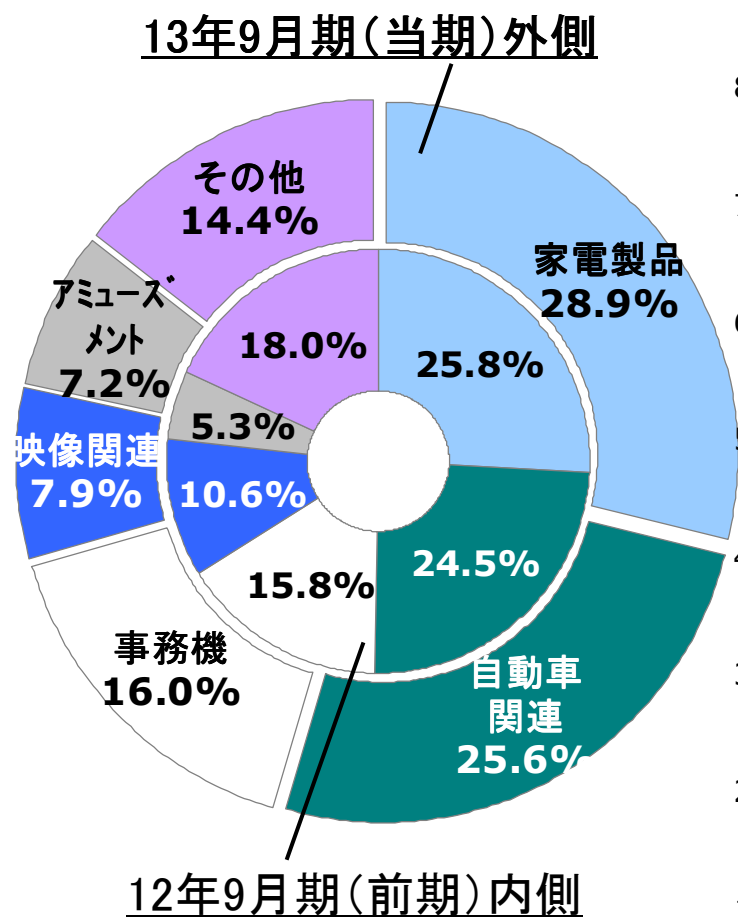
製品別売上高推移



※両面板には一部、多層板と銀スルーホール基板を含んでいます。



用途別売上高

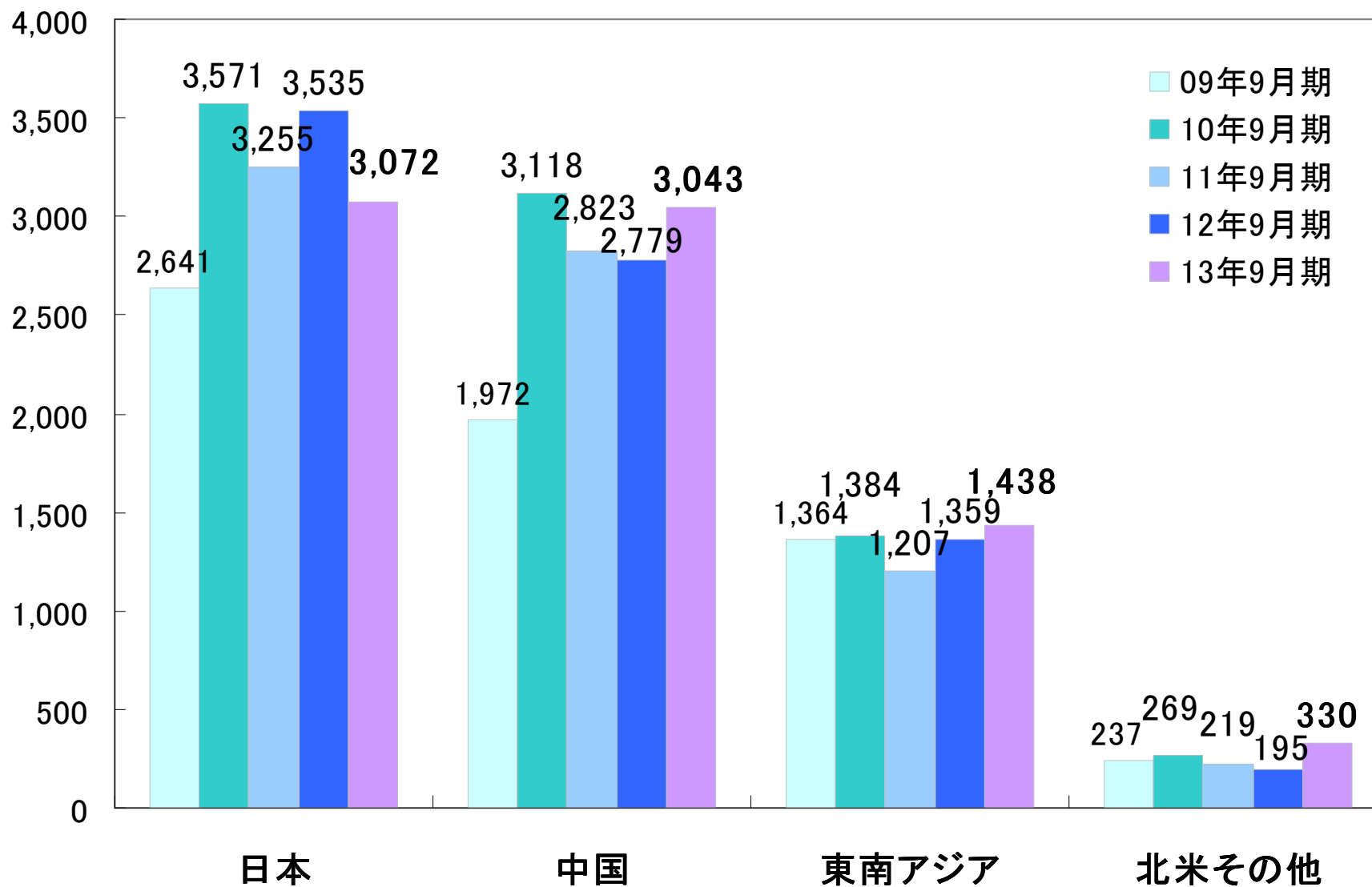




地域別売上高推移



百万円



貸借対照表



(単位: 百万円)

	前期末 13年3月	当期末 13年9月	増減		前期末 13年3月	当期末 13年9月	増減
流動資産	7,008	7,429	421	流動負債	5,150	5,589	438
現預金	2,802	2,645	△157	仕入債務	2,355	2,603	247
売上債権	2,612	3,166	554	短期借入(リース債務含む)	2,178	2,379	200
棚卸資産	1,301	1,297	△4	その他流動負債	616	607	△9
その他流動資産	292	320	28	固定負債	1,523	1,230	△292
固定資産	3,592	3,948	355	長期借入(リース債務含む)	1,056	792	△264
有形固定資産	2,991	3,305	314	その他固定負債	467	438	△28
無形固定資産	15	22	6	純資産	3,926	4,558	631
投資その他資産	585	621	35	(うち少数株主持分)	110	125	15
資産合計	10,601	11,378	777	負債・資本合計	10,601	11,378	777

換算レート(円)	前期末	当期末
US\$	94.05	97.75
HK\$	11.17	12.71

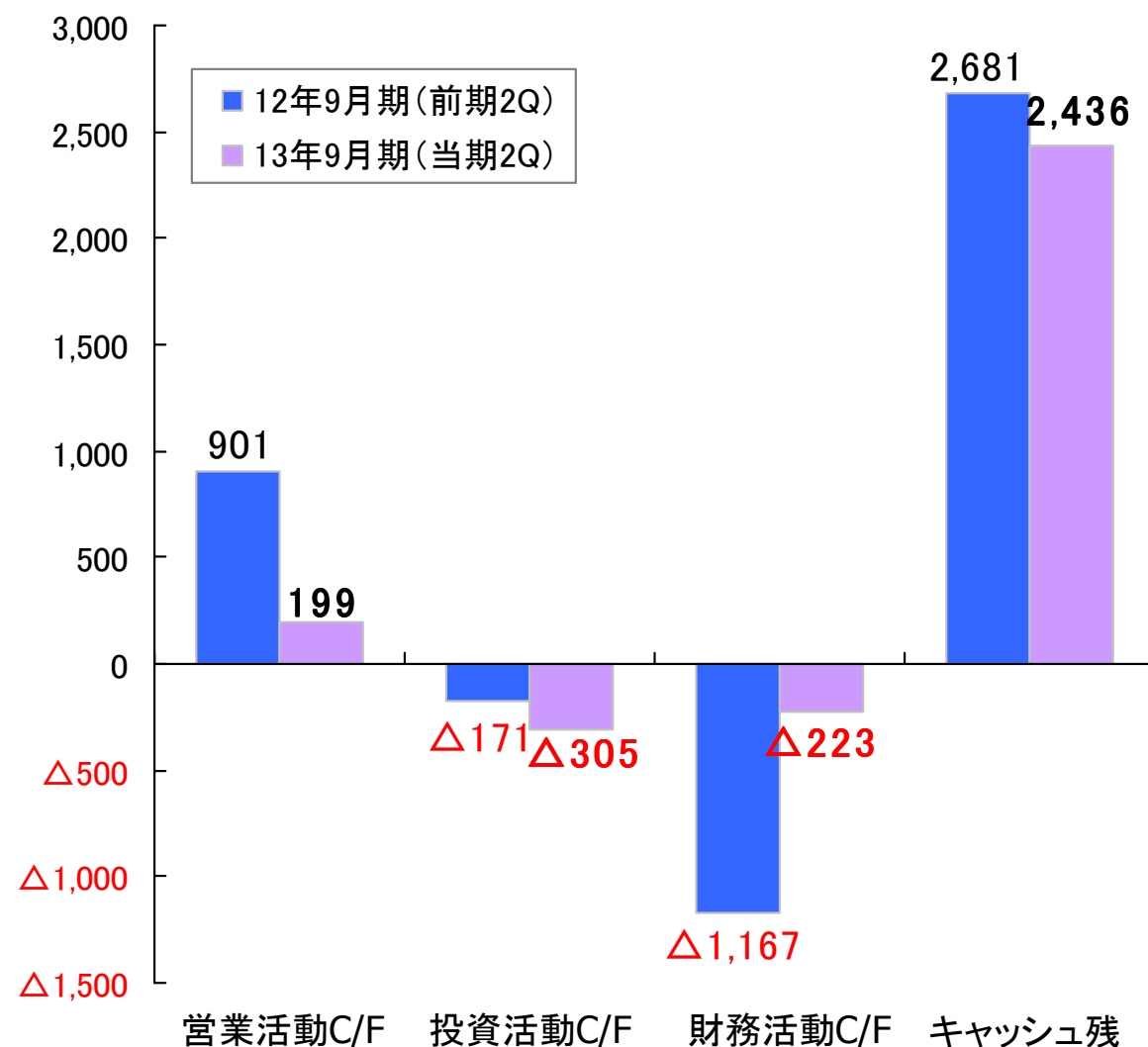
経営指標	前期末	当期末
流動比率	134.3%	132.9%
有利子負債依存度	30.5%	27.9%
自己資本比率	38.6%	39.0%



キャッシュ・フロー計算書



百万円



<特記事項>

営業活動C/F 199百万円

税引前利益	381百万円
減価償却費	228百万円
売上債権の増加	△358百万円
たな卸資産の減少	88百万円
仕入債務の増加	86百万円

投資活動C/F △305百万円

有形固定資産の取得	△326百万円
国内: 土地購入、生産性・環境改善投資	
海外: 省人化及び生産性向上投資	

財務活動C/F △223百万円

短期借入金純増加	260百万円
長期借入金約定返済	△407百万円
配当金の支払額	△64百万円



IV. 2014年3月期 業績予想

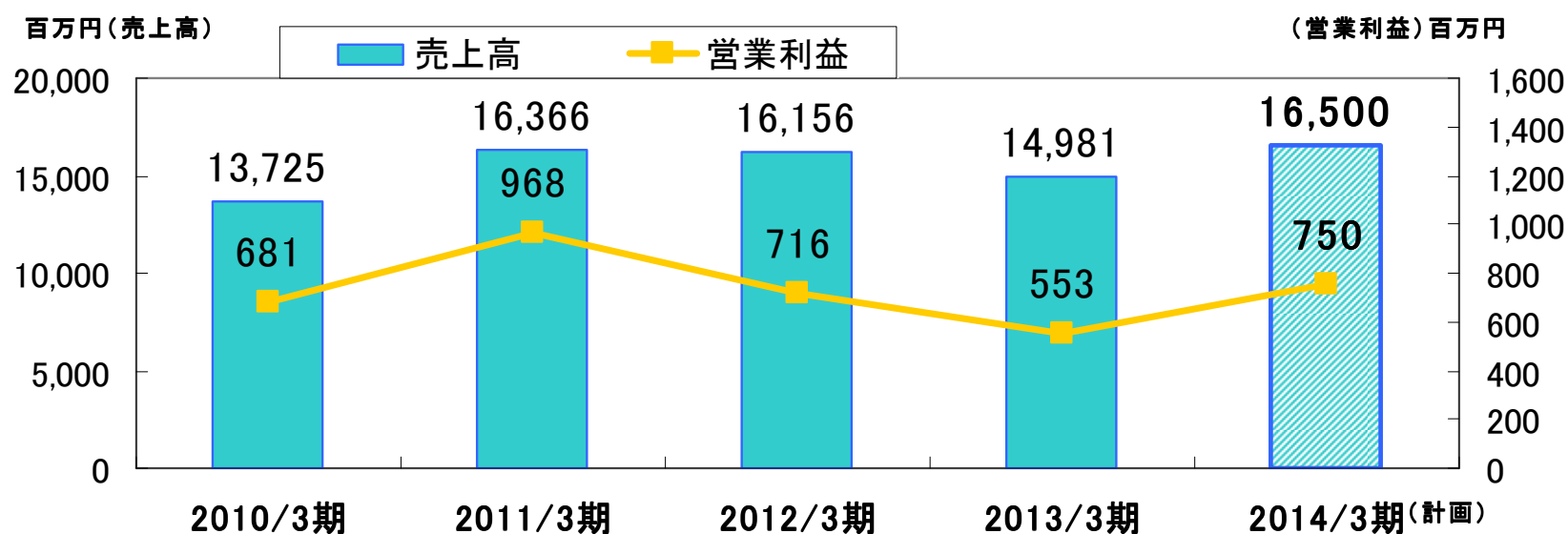
2014年3月期 通期業績予想



(単位: 百万円)

連結	業績予想 (2014年3月期)					(参考)
	通期	前期比	当初通期	上期実績	下期見込み	前期実績
売上高	16,500	110.1%	16,500	7,885	8,615	14,981
営業利益	750	135.5%	750	326	424	553
経常利益	750	113.5%	700	363	387	660
当期利益	530	167.5%	500	284	246	316
営業利益率	4.5%	—	4.5%	4.1%	4.9%	3.7%

【通期想定レート: 1US\$ = 97円】





(参考) 株価と配当額の推移



KYOSHA CO.,LTD.

Splits: ▼

2013/11/28



(C) 2013 Yahoo Japan Corporation.

<http://stocks.finance.yahoo.co.jp>

配当額の推移

出所: Yahoo! ファイナンス

2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期
5 円	5 円	5 円	5 円	5 円



業績見通しについて



この資料には株式会社京写の将来の計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信にもとづく見込みです。

また経済動向、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実性も多分に含んでいます。それゆえ実際の業績は当社の見込とは異なるかもしれない事をご承知おき下さい。